

造船協會會報

第三十一號

大正十一年十月刊行

本會記事

(一) 臨時總會

大正十一年四月八日午後一時三十分より東京市麴町區有樂町帝國鐵道協會に於て臨時總會を開催せり。

(a) 定款及細則中改正の件

○會長(近藤基樹君) 唯今より豫て御通知申上げた順序に従ひまして最初に臨時總會を開きます、日程第一、定款及細則中改正の件は主事の今岡博士から申し上げます。

○主事(今岡純一郎君) ちよつと皆様に定款と細則との改正を御説明申し上げます、從來の役員の任期は各人が三年とか二年とか決めてございますから、其人が選任されました時を起點と致しまして、さうして定款に書いてある年限に至りまして改選をする、斯う云ふことになつて居りました爲に、常に役員の任期が全員一致すると云ふことが出来ない、是は比較的會合の機會の少い本會と致しましては兎角今まで不都合を感じました、今一つ從來の選舉の方法に依りますと直接選舉になつて居りまして、理事に誰を選舉して、幹事に誰を選舉して、評議員に誰を選舉すると云ふことになりまして、現在評議員である人を理事に選舉いたします、今度は評議員の補缺が要ると云ふやうなことになりまして、其間選舉を致します上に甚だ面倒なことが起つて來ます、それからもう一つは從來の役員は總て在京の會員に限つて居つて地方の方が役員の席を占められないと云ふことは、今日は交通の便も非常に良くなりましたし、又本會會員諸君の利害關係を考慮する時には、地方に居られる方も始終役員會へ出て載きたいと云ふ希望から今度の改正案には地方の方からも役員を出して載く、凡そ此三點を考慮いたしまして役員會で定款の改正案、それから之に伴ひました細則の改正案を茲に提出いたしまして、さうして